

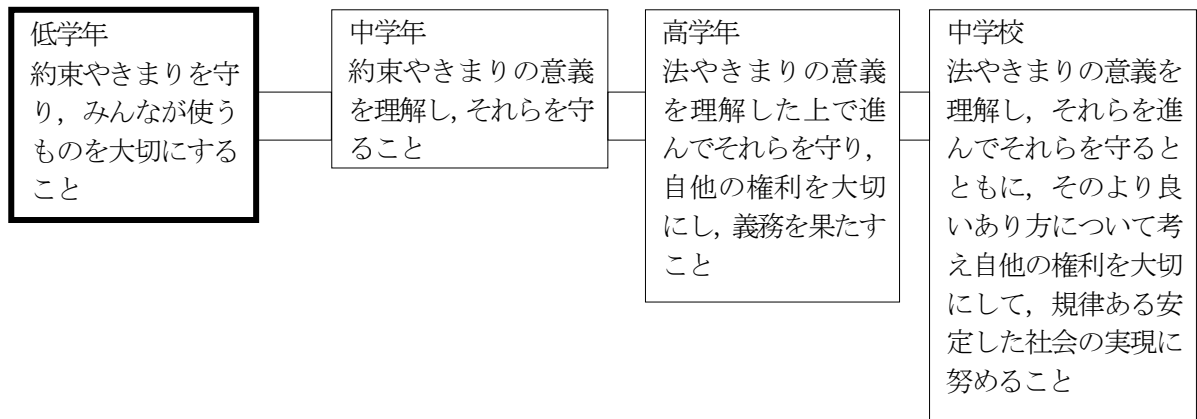
第1学年 道徳科学習指導案

日 時 平成28年11月1日(火) 1校時
児 童 1年生 20名
授業者 山 崎 幸 江

- 1 主題名 きまりの大切さ (C 規則の尊重)
- 2 教材名 よりみち(「みんななかよく1」東京書籍)
- 3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

第1学年及び第2学年の内容の「C 規則の尊重」は「約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすること。」とある。これは、生活するうえで必要な約束や法、きまりの意義を理解し、それらを守るとともに、自他の権利を大切にし、義務を果たすことに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。



自分だけがよければいいといった自己中心的な考え方は、集団で生活していく上において、他人に迷惑をかけ、不快感を与えてしまうことになる。しかし、低学年の子供たちは、その発達段階から、相手のことを十分に考え、相手の身になって行動することはできない。

そのために、みんなが楽しく生活するためにはきまりがあることを折に触れ取り上げたり、お互いが仲良く楽しく生活できることを基準にして自分の行動を振り返らせ、きまりをつくったりしてきた。そこで、それらを守ることによって、より楽しい学校生活を送ることができることを実感させ、さらに約束やきまりを進んで守ろうとする心情を育てることが大切であると考えます。

(2) 児童について

身近な約束やきまりを取り上げ、それらはみんなが気持ちよく安心して過ごすために必要であることを理解し、しっかりと守ろうとする意欲や態度を育てることが大切である。そのために、1学期の道徳「みんなのこうえん」の学習を通して、公共の場の使い方について考えさせた。また、国語科における「まちがいをなおそう」では、表記のきまりを守ることで相手に内容が正確に伝わることを考えさせた。さらに図工科における「おさんぽトコトコ」でも、作り方の約束を守ることで、転がるおもちゃを作ったり楽しく遊んだりできることを経験させてきた。毎日の給食指導では、作ってくださった人へのマナーの大切さを、食器をきれいにしてから返却することで実践させ感じとらせるようにしてきた。

このような指導により、児童は静かに教室移動をしたり着替えをしたりするなど、みんなが気持ちよく安心して過ごすためには、ルールを守らなければならないことを少しずつ理解してきた。

一方で、約束やきまりを守ろうとする意識は持っているものの、行動に移すとなると、どうしても自分の欲

求を我慢できずに守れない子もいる。また、ほかの人に迷惑をかけないために、どうすればきまりを守ることになるのか、イメージを十分にもっていない子もいる。

このことから、身近な約束やきまりを取り上げ、それらはみんなが気持ちよく安心して過ごすためにあることを理解させるとともに、行動の仕方を身につけさせ、できたらほめることを繰り返していくことを通して、しっかりと守ろうとする意欲や態度を育てることが必要であると考えている。

(3) 教材について

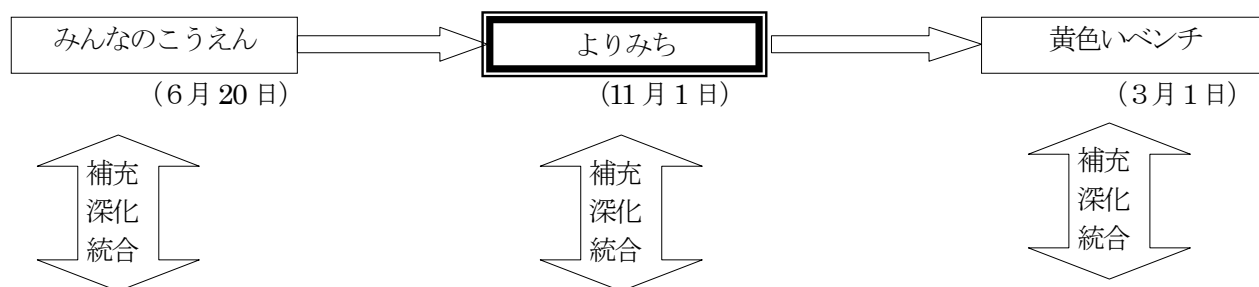
本教材は、主人公の「ちょっとだけなら。」と安易に判断して寄り道し、お母さんをはじめ多くの人々に心配や迷惑をかけてしまうという話である。

低学年の児童の多くは、子猫や子犬など小さな生き物に親しみをもっている。そのため、その子犬を見つけると「もっと見たい」「だっこしたい。」という気持ちや、主人公と同じように自分の興味をひくものがあれば寄り道したり寄り道しようと思ったりする可能性は誰にでもあることは容易に理解できると思われる。

「寄り道してはいけない。」きまりはどの児童も知っている。しかしその理由は、「叱られるから。」という浅い段階にとどまっていることも考えられる。帰宅の遅い主人公を、母親をはじめ周りの人がどれほど不安な気持ちで探していたか気付く主人公の気持ちを考えさせることを通して、人との関わりの面から約束やきまりを守ることの大切さに気付かせたい。

(4) 各教科等との関連

【道徳の時間】



<p>【日常の学級経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャイムに合わせた行動の仕方や正しい廊下歩行、安全な給食の準備など、学校の決まりをしっかりと身につけさせていく ・行動の仕方としてモデルを示す。できたらほめる。ほめ続けることで定着させる。それとともに、みんなが仲良く楽しく学習し生活していくことを基準にして、そのために必要な約束やきまりを守るように促していく。 ・徐々に、自分たちの力で約束や決まりを守れたと実感できる場を増やしていく。 	<p>【復興教育】 ショート訓練をやってみよう</p> <p>【各教科等】 国語 まちがいをおおそう 図工 おさんぽトコトコ</p> <p>【児童会行事・学級活動】 しっかり食べよう</p> <p>【学校諸行事】 避難訓練【9月21日】</p>
--	--

4 学習指導過程

(1) ねらい

「ちょっとだけなら。」という安易な判断をしてしまう心の弱さが周りの人にどれほど迷惑をかけるか考えることを通して、みんながなかよく楽しく生活するためにきまりを守っていこうとする心情を育てる。

(2) 展開の大要

段階	学習活動と主な発問	期待する児童の反応	指導上の留意点
気づく 4分	1 本時の学習課題をつかむ。 ○ きまりを守れなかったときは、どんな時ですか。 ○ 河北カルタを読んでみましょう。		<ul style="list-style-type: none"> 誰でもきまりが守れないことがあることを確認するために発表させる。 なかよしカルタづくりへの意欲を持たせるために、河北カルタを提示する。
	みんながなかよくたのしくせいかつするための「なかよしカルタ」をつくろう。		
深める つかむ 21分	2 教材「よりみち」を読み、安易な判断で寄り道をしてしまった主人公の気持ちについて話し合い、価値の理解を図る。 ① みさきさんは、どうして寄り道をしてしまったのでしょうか。 ② 通学路に出て駆け出したとき、みさきさんはどんな気持ちだったでしょう。 ③お母さんの目、涙がいっぱいだった。それを見たときのみさきさんはどんな気持ちになったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> 子犬が早く見たいな。 楽しみだな。 ちょっとだけなら寄り道しても大丈夫だね。 どうしよう。 ちょっとだけと思っていたのに遅くなっちゃった。 おこられるかな。 心配していただろうな。 ごめんなさい。 怒られると思ったのに。 大変なことをしてしまったんだ。 すごく心配してくれていたんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄り道をしたり、寄り道をしようとしたときの自分との関わりに気付かせるために、「ちょっとだけなら。」という気持ちに共感させ、自分の経験に基づいた考えを発表させる。 「しまった。」「叱られるからきまりを破ってはいけない。」などの気持ちを十分に表出させるために、役割演技をして、きまりを表面的にしかとらえていないことに気付かせる。 約束やきまりを守る大切さを人との関わりの面から感じ取らせるために、約束を軽く考えたり、うっかり破ったりすることが、周りの人にどれほど心配や迷惑をかけることになるかということに気づかせる。 大きな場面絵を用いて周りの人たちの表情をはっきりと捉えさせる。 ペアで話し合わせたりワークシートに書かせたりして考えさせる。

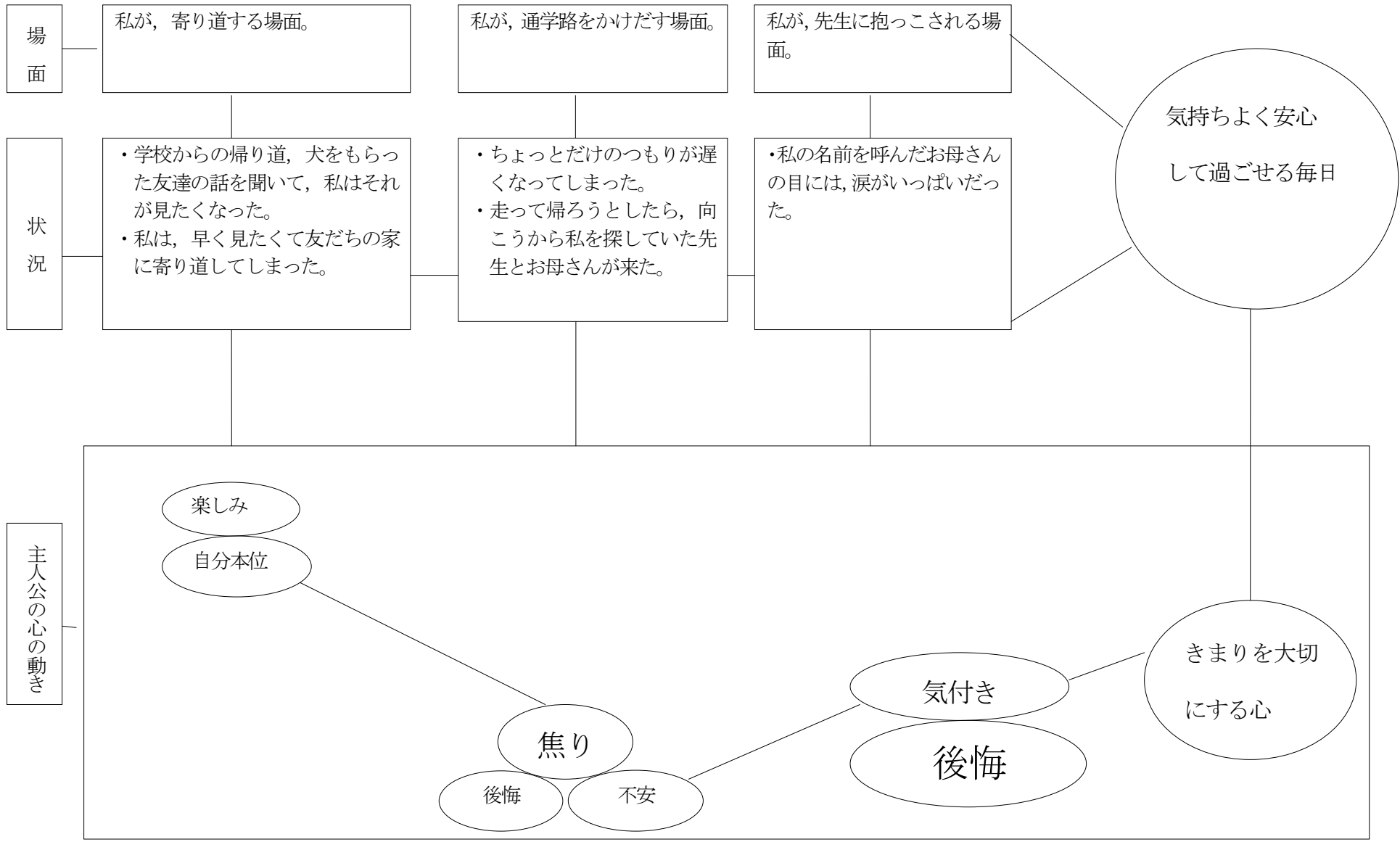
<p>広 げ る 17 分</p>	<p>3 道徳的な価値理解を基に、自己を見つめる。</p> <p>○ みんながなかよくたのしくせいかつするための「なかよしカルタ」をつくろう。</p> <p>○ 「なかよしカルタ」を紹介する。</p>	<p>・おかあさん しんばいしてる かえるまで</p> <p>・あるこうよ あんぜんだいじろうかでは</p> <p>・そうじちゅう おしゃべりしない はたらこう</p>	<p>・これからの自分の学校や家庭での生活を考え、きまりの必要性に向き合わせるために、一人一人にカルタを作らせる。</p> <p>・きまりを守ろうという気持ちをそれぞれがもっていることを称賛する。</p>
<p>ま と め る 3 分</p>	<p>4 今日の学習で学んだことを振り返り、規則の尊重についてさらに考える。</p> <p>・教師の説話を聞く。</p>		<p>・約束を守ってよかった経験を話す。</p>

(3) 教材の吟味

教材名 よりみち
(出典:「みんななかよし」東京書籍)

[ねらい]

「ちょっとだけなら。」という安易な判断をしてしまう心の弱さが周りの人にどれほど迷惑をかけるか考えることを通して、みんながなかよく楽しく生活するためにきまりを守っていこうとする心情を育てる。



5 第1学年 推進計画1(重点内容項目)

学期	重点内容項目	A 希望と勇氣, 努力と強い意志	D 生命の尊さ	C 規則の尊重
		自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	生きることのすばらしさを知り, 生命を大切にすること。	約束やきまりを守り, みんなが使うものを大切にすること。
一学期	目指す子ども像	自分の役割ややらなければいけないことが分かる子ども	動植物の生命を大切にしようとする子ども	公共の場で, みんなが気持ちよく過ごすには, どうすればよいか考える子ども
	道徳の時間	主題・資料名・出典名 がんばるころ 『うかんだ うかんだ』(東京書籍)	たいせつなのち 『しぜんのいのち』(学研)	みんなが「ここに」 『みんなのこうえん』(学研)
		ねらい	自分の目標に向かって, 一生懸命努力しようとする意欲を育てる。	身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめる体験を通して, すべての生き物の生命の尊さを自覚し, 大切に守り育てようとする心を育む。
	各教科との関連	①学校行事「運動会」 様々な並び方や競技の参加の仕方が分かり, 最後まで頑張ろうとする。 ②学活「当番活動・係活動」 当番や係活動の仕方が分かり, 自分の役割をしっかりと果たそうとする。	①学校行事「避難訓練」 地震や火災の際の避難の仕方が分かり, 自分の命を守ろうとする。 ②生活科『きれいにさいてね』 アサガオの種をまき, 育てることによって, 動植物を大切にしようとする。	①学校行事「交通安全教室」 安全な歩行や横断の仕方が分かり, 交通ルールを守ろうとする気持ちを育てる。 ②体育『遊具の遊び』 遊具の使い方が分かり, みんなで仲良く安全に気をつけて遊ぼうとする。
二学期	目指す子ども像	自分の役割ややらなければいけないことをやり通そうとする子ども	動植物の生命の尊さに気づき, すべての生命を大切にしようとする子ども	約束やきまりを守ることの大切さを理解し, きまりを守ろうとする子ども
	道徳の時間	主題・資料名・出典名 じぶんのためにがんばろう 『はたらけ せつせ』(学研)	いのちをまもりそだてる 『ハムスターのあかちゃん』(文部科学省)	きまりの大切さ 『よりみち』(東京書籍)
		ねらい	自分がやらなければならない仕事や勉強は, 外部からの誘惑や怠けたいという気持ちに打ち勝って, くじけずにやり通そうとする心情を育てる。	この世のすべての動植物には等しく尊い命があることに気づかせ, 自分の命もその他の動植物の命も粗末に扱わないようにする意識を高める。
	各教科との関連	①学活「校内マラソン大会へ向けて」 一生懸命練習したり, 大会では今までの練習の成果を発揮できるように, 全力で走り切ったりすることができる。 ②生活科『じぶんで できるよ』 家庭生活について調べたり, 尋ねたりすることを通して, 自分でできることなどについて考え, 自分の役割を積極的に果たそうとする。	①生活科『いきものとなかよし』(動物公園見学) 自然や動植物に触れながら, 生命を大切にしようとする。 ②児童会行事「誕生集会」 家族のメッセージやよむよむさんの読み聞かせを聞くことにより, 生命を大切にしようとする心情や家族へ感謝する気持ちをもつ。	①体育『みずあそび』 プールの利用の仕方やきまりが分かり, 安全に楽しく水遊びをしようとする。 ②図工『おさんぽトコトコ』 形や色, 動き方を工夫しながら, 簡単な転がるしくみを使って, 動くおもちゃを作る。
三学期	目指す子ども像	自分の役割ややらなければいけないことを最後までやり通そうとする子ども	生命の尊さに気づき, 家族や周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに, これからも生命を大切にしようとする子ども	約束やきまりを守り, みんなが使うものを大切に扱おうとする子ども
	道徳の時間	主題・資料名・出典名 何度も粘り強く 『こぐまのらっぱ』(東京書籍)	たった一つの命 『いのちが あって よかった』(東京書籍)	きまりを守って使う 『みんなのボール』(東京書籍)
		ねらい	自分で行わなければならないことは, 最後まで粘り強く行おうとする心情を育てる。	かけがえない命の尊さに気づき, 大切にしようとする心情を育てる。
	各教科との関連	①学活「1ねんかんのせいかつをふりかえろう」 今までの生活を振り返り, できていないことを取り上げ, 1週間のスパンで〇〇作戦として取り組み, できていないことができるようになることの喜びを味わったり, 努力すること ②図工『こころのはなをさかせよう』 心を込めて楽しく花をかいて飾り, 新入生に歓迎の気持ちを伝えることを通して, 進級する自覚を持つ。	①生活科『もうすぐ2ねんせい』 1年間の生活やできるようになったことの振り返りをする中で, 自分自身の成長や支えてくれた人たちへの感謝の気持ちをもつ。 ②学校行事「こころの授業」 震災のことを伝え, 生命の尊さや人との心のつながりについて, 話し合うことによって, これからの生活について考える。	①体育「冬の体育教室」 公共の場でのマナーや雪の中での活動の仕方やきまりが分かり, 安全に楽しく雪遊びをする。 ②音楽『おとをあわせてたのしもう』 互いの声や音を聴きながら, 拍の流れにのって楽しく演奏をする。

第1学年 推進計画2 学級における道徳指導計画一覧

重点	学期	道徳の時間 ・道徳副読本 ・私たちの道徳	学校諸行事	児童会行事 学級活動 斜体は児童会目標	復興教育 「いきる」 「かかわる」 「そなえる」	国語	社会	算数	理科 生活	音楽	図工	家庭	保健 体育	総合的 な学習	外国 語活動	
希望と勇気・ 努力と強い 意志	1	うかんだうかんだ(学研)	運動会 終業式	なかよし かきかっどうやうやばんかっどうをおぼえよう 元気に大きな声であいさつしよう(4月) さしすせそじに取り組もう(7月)	<生きる> 友達や家族と遊ぼう			いくつといくつ あわせていくつ ふえる と いくつ のこりは いくつ ちがいは いくつ なんじ なんじはん	すたあと ぶつく	こころの うた はくを かんじて あそぼう	ひかりの くのに なかまたち		走の運動遊び 表現遊び マットを使った運動遊び			
	2	はたらけさせ(学研)	始業式 校内マラソン大会 終業式	なかよし 校内マラソン大会に向けて マラソン大会に向けて心と体をきたえよう(10月) 進んで読書に取り組もう(11月)	<生きる> 家族のみんなに よることでもらったよ!			3つのかずのけいさん たしざん ひきざん	じぶんので できるよ	いろいろな おとを たのしもう	さわって、はって、たしかめて、 のぼして べったん びつくり ピョーン		跳の運動遊び 跳び箱を使った運動遊び			
	3	こぐまのらっば(東書)	始業式 修了式	なかよし 1年間の生活をふりかえろう 1年のまとめをし、卒業・進級しよう(3月)	<かかわる> 作文 ありがとう おまわりさん			なんじなんぶん ずをつかってかんがえよう				できたらいいな、こんなこと こころの はなを さかせよう		リズム遊び		
生命の尊さ	1	しぜんのいのち(学研)	入学式 避難訓練 JRC登録式	一年生を迎える会 第1回誕生集会 心の日 歌声を響かせよう(6月)	<そなえる> みんなで、ぼうさい 力を高めよう ショートくん練習を やってみよう			なかまづくりとかず なんばんめ 10よりおおいかず	きれいに さいてね	うたで なかよしに なろう	すきなものいっぱい 「じぶんマーク」で みんな なともたち しぜんと なかよし みて みて、いっぱい つくったよ		体ほぐしの運動 水遊び			
	2	ハムスターのあちゃん(東書)	祖父母参観 避難訓練 感謝集会	第2回誕生集会 心の日 しっかり食べよう(8・9月)	<生きる> 友だちや家族と 遊ぼう			どちらがながい どちらがおおい どちらがひろい	いきものとなかよし(動物 公園見学) たのしい あき いっぱい	ようすを おもいうか べよう	あさがおの絵 どうぶつむらのピクニック くしゃくしゃがみから うまれたよ		体ほぐしの運動			
	3	いのちを大切に(文科省) いのちがあってよかった(東書)	こころの授業	6年生を送る会 第3回誕生集会 心の日 ボランティア活動を積極的にしよう(1月)	<そなえる> 2011(平成23) 年3月11日 東日本大震災			どうぶつ 赤ちゃん	もうすぐ 2ねんせい	にほんの うたを た のしもう	はっけん! あたらしい なかま ゆめの まち さんちょう め		体ほぐしの運動			
規則の尊重	1	みんなのこうえん(学研) きそく正しく気持ちのよい毎日を(文科省)	交通安全教室	正しい廊下歩行を心がけよう(5月) 運動会を成功させよう(5月)	<そなえる> そのとき、どうする? かきと かぎ ふんをつくろう ねこと ねっこ おばさんと おばあさん おもちゃと おもちや は・を・へを つかおう			かきと かぎ ふんをつくろう ねこと ねっこ おばさんと おばあさん おもちゃと おもちや は・を・へを つかおう	がっこう だいすき なつたあそぼう	はくを かんじて リ ズムを うとう	チョッキン パツで かざ ろう		遊具の遊び 鬼遊び ボール遊び			
	2	よりみち(東書)	避難訓練	しっかり食べよう	<そなえる> ショートくん練習を やってみよう			まちがいを なおそう かたかなを かこう	かたちあそび	つくろう あそぼう	どれみで うたったり ふいたり しよう	おさんぽ トコトコ		ボールゲーム 水遊び		
	3	黄色いベンチ(文科省)	修了式	6年生を送る会を成功させよう(2月)	<かかわる> 4つの教え			かたちづくり	ふゆを たのしもう	おとを あわせて た のしもう			冬の体育教室 雪遊び ボールゲーム			

よりみち

みんながなかよくたのしくせいかつするための「なかよしカルタ」をつくろう。

ちよつとだけ。

より道をしている。
挿絵①

- ・早くみたいな。
- ・楽しみな。
- ・ちよつとだけならよりみちしてもだいじょうぶだね。

きがついたら四じ。

おそくなつちやった。

つうがくろに出て、かけだした。

- ・どうしよう。
- ・ちよつとだけと思っていたのに、おそくなつちやった。
- ・おこられるかな。
- ・しんぱいしていただろうな。

先生とお母さんが私を見つけた。
挿絵②

- ・ごめんなさい。
- ・おこられるとおもったのに。
- ・たいへんなことをしてしまった。
- ・すごくしんぱいしてくれていたんだ。

ふたりはすごいからお。

せんせいにだっこされた。

おかあさんのめ、なみだがいっぱいだった。

しんぱいをかけてはいけない。

きまりは、だいじ。